

気がつけば半生を語ってしまっていたわたし

—映画ファンから映画(会社)人生へ—



第53期生(新35期) 吉田 順

1983年に能代高校を卒業しました吉田といいます。わたしたちの頃は何期とかいう概念がなかったので、「何期？」と聞かれても困っちゃいます。能代高校東京同窓会に関わるようになって、自分が新35期生というものらしいということがわかりました。

それはさておき、その後中央大学法学部を卒業し、現在の東映株式会社に入社しました。中央といえど司法試験か公務員。ごたぶんにもれず、わたしの大学の同期もほとんど公務員です。わたしだけが変り種なんです。

しかし、大学時代から映画を観て歩くことに青春をかけていたわたしには別に不思議なことでもなかったわけです。自分でいうのもなんですが大学時代にはよく勉強しました。その合間をぬって観て歩いたので、年間100本ぐらいのペースで観ましたかね。会社に入ると当然のように上には上がいるもので、年間300本、400本ペースで観て歩いたというつわものがありました。ほぼ、毎日映画を観てたわけですよ。一見不可能に見えるこの数字ですが、実はポルノ映画までくまなく観ると可能なんです。短くて2本立てだから。学校は行ってたのかよ、と思うのですが、まあ、人それぞれですから。

映画会社に入ったものの人生とはうまくいかんもので、最初の配属先は経理部でした。その頃はまず、就職して自分で食えるようになることがまず第一でしたので、配属とかは考えてなかったのですが、いざ、毎日がそういう仕事となると、これじゃ公務員と変わらん。民間会社に入った意味ねーじゃんと思うようになりました。会社の金で簿記3級とかがとれて、貸借・損益とかがわかるようになったので、まったく無駄ではなかったのですが、そのうち欲が出てきました。

脚本らしきものを書いてみたり、その手の賞に応募してみたり、そして、異動願いを出したりと、しているうちにあがきが認められて、映画の企画部門に異動になりました。

喜んだのもつかの間、実はだましみたいなもので、「東映音楽出版」という子会社をたちあげるのに経理がわかる人間が欲しかっただけだったのです。音楽にはいろいろな権利がありまして、説明するとめんどくさくなるのですが、この会社は主に映画の背景音楽(BGM)の製作と権利の管理をする会社です。ところが、これがおもしろかったんです。何もないところから会社を立ち上げるというのは大変なようで、自分の好きなようにいろいろできるんですから。「音楽著作権管理者」なるナゾの資格までとってしまいました。

ところが、不思議なもので、たちあげてる最中はおもしろいのですが、ルーティンにのってくるとつまらなくなるんですよ。「なんかつまんなくなってきたし、めんどくさいこと多くなってきたな」と、思ったところで、いい口実ができたので、足抜けしちゃいました。

第27期生(新9期)
能代高校東京同窓会

幹事 石嶋喜直
(八森町出身)

東京産業株式会社 顧問

第27期生(新9期)
能代高校東京同窓会

幹事 大村眞陸郎
(八竜町出身)

東京八竜会
大和設備株式会社 常務取締役

そのあと、企画に戻ったわたしは仕事がなくてひまでしばらく遊んでおりました。しかし、おせっかいなことにというか、いい人なんだろうが、そういう遊んでる人を働かそうと思う人がいるんですよ、会社って。あたりまえか。

それで、いまは何をやっているかという、主に映画の製作提携契約担当です。昔と違って、映画会社が1社で映画1本をつくるということがなくなってしまいました。リスクヘッジというやつです。少ない時で3社、多いときには10社もが集まってお金をだしあって1本の映画をつくるようになりました。製作委員会方式というものです。これにあたっては、いつ、いくら払ってもらえるのか、そして、それにあたってはどのような権利が欲しいとかいろいろあって、そこらへんの交通整理をして契約にこぎつけます。結局、法学部出身は法律なのね、みたいなおちになってしまいました。

いまやっている仕事のことを書こうと思いつつ、そこにいたるまでにこんなにページをとってしまいました。いまの仕事についてはまたの機会ということで。

11月16日全国東映系公開、優香主演の「恋に唄えば♪」では製作委員会の一員として、エンドロールにババーンとわたしの名前が出ていますので、ぜひ、観てやってくださいませ。

3月16日、脳溢血で倒れ現在療養中です。

第26期生（新8期） 八 柳 昭 義

今年3月16日の夜、自宅で脳溢血で倒れ、救急車で病院に運ばれ、そのまま入院していましたが、病状が思ったより軽くすんで、まだ右手足にマヒ状態があるため、歩行等に支障が残っていましたが、3ヶ月入院して6月21日に退院し、その後はリハビリや訓練をしながら、現在自宅で療養生活をしています。入院した当初はどうかと思いましたが、幸い症状も軽くすんで、3ヶ月の入院で退院することになりました。また、会社も5月に定年退職しました。という訳で、残念ながらまだ暫らくは手足に不自由が残っているので、今までのように東京同窓会の仕事などが出来なくなりました。

しかし、同窓会の仕事は幹事役員の皆さんが手分けして後を引受けてやってくれています。有り難い事です。今後も会員皆様方の、より一層のご支援ご協力を宜しくお願い致します。

第27期生（新9期）

ダイナミック工業（有）

代表取締役社長 **田 村 紀 允**
のり よし
 東京八竜会監事（八竜町出身）

工場： 埼玉県本庄市見福1-15-13
 TEL 0495-24-7370
 自宅： 埼玉県児玉郡児玉町入浅見929-3
 TEL 0495-72-5357

第28期生（新10期）

能代高校東京同窓会

監 事 **大久保 征 輝**
 （能代市富町出身）

〒330-0037 さいたま市東大成町2-191-507

第29期生（新11期）

あなたも手話を勉強してみませんか
 手話サークル「二人会」

主 宰 **石 川 正 順**

電 話 0470-62-3282
 Email : seijyum-syuwa@boat.2ero.ad.jp
 勤務先：財団法人千葉県動物保護管理協会

第30期生（新12期）

能代高校東京同窓会

幹 事 **熊 谷 幸 夫**
 （能代市出身）

新総建設株式会社 東京出張所長